

【2級・解説】

リスニング

PARTE I (N1 - N4)

N3 c

【正答率】96.5%

F1: Ma sta piovendo? Sei tutta bagnata...

F2: Macché, non è pioggia. Ero ferma al semaforo ad aspettare il verde quando due ragazzini sono passati con le biciclette a tutta velocità e uno di loro mi ha spruzzato dell'acqua in faccia!

F1: Ma dai! Con che cosa?

F2: Con una bottiglietta di plastica. Mi hanno presa proprio in pieno. Per fortuna era solo acqua.

F1: E perché hanno fatto questo brutto scherzo proprio a te?

F2: Ma che ne so... Non c'era molta gente in giro a piedi e io ero la più vicina alla strada: un bersaglio perfetto.

【訳】(女1)あら、雨が降っているの？あなたずぶ濡れよ……

(女2)とんでもない、雨じゃないわ。信号で立ち止まって青になるのを待っていたら、男の子が2人、自転車で全速力で通りかかって、そのうちの1人が私の顔に水をかけたのよ！

(女1)まあ、そんな！何を使って？

(女2)小型のペットボトルだよ。まさに私に命中させたってわけ。幸いなことにただの水だったんだけどね。

(女1)一体なぜこんなひどいいたずらを、よりによってあなたにしたのかしら？

(女2)そんなこと知るもんですか……歩いている人は周りにあまりいなかったし、私が道路に一番近かったのよ。完璧な標的よね。

N4 a

【正答率】90.8%

M: No, dai, ma cos'è 'sta roba? Vabbè che io odio i soprammobili, ma questo è veramente orribile, e poi... del tutto inutile!

F : Ma perché, dai! È un cofanetto, vedi? Se alzi le ali si apre.

M: Ma cofanetto ...per cosa?

F : Per cosa? Caramelle, cioccolatini, bigiotteria... fa' un po' tu.

M: Sì, ma... chi mai se lo metterebbe in casa, mi chiedo...

F : Boh, magari un appassionato di insetti...

M: Sì, dai, ma ci sono insetti e insetti. Questo è uno dei più fastidiosi!

【訳】(男) 勘弁してよ、こりゃ一体何だよ？そりゃ僕は置き物は大嫌いだけど、これは本当にぞっとするよ！それに……まったく役に立たないし！

(女) あら、どうしてよ！ほら、これは小箱よ。羽根を持ち上げると開くの。

(男) 小箱って……何のための？

(女) 何のためのって？キャンディーとか、チョコレート菓子とか、アクセサリとか……自分でちょっと考えてよ。

(男) ああ、でも……一体誰がこんなものを家の中に置くんだろうなあ……

(女) さあ、ひよっとしたら昆虫マニアとか……

(男) ああ、それにしても、昆虫なんていくらでもいるんだよ。こいつは最も迷惑なやつの一つじゃないか！

PARTE IV (N13 – N16)

N13 a

【正答率】62.0%

M: A Roma i libri hanno messo le ali. Sì, per volare a casa di persone disabili o costrette a letto da gravi malattie. Il servizio è reso possibile dalla collaborazione fra un'associazione di volontariato e le biblioteche comunali romane. Basta una telefonata e un volontario dell'associazione si occupa di cercare il libro richiesto e consegnarlo direttamente e gratuitamente a casa dell'interessato. Un piccolo ma importante aiuto per chi, costretto in casa, deve lottare ogni giorno con la noia.

La notizia parla:

- a) di un servizio per malati e disabili
- b) della possibilità di acquistare libri on line
- c) di un nuovo servizio postale

【訳】(男)ローマでは本に羽根が生えました。そうです、身体の不自由な人や重病で寝たきりの人たちの家に飛んでいくためです。このサービスはあるボランティア団体とローマの市立図書館との間の協力によって可能になりました。電話 1 本かけるだけで、この団体のボランティアの一人がリクエストされた本を探して、本人の家に直接、無料で配達するのを担当してくれます。家から動けず、毎日退屈と戦わなくてはならない人にとって、ささやかですが大切な助けになるのです。

このニュースが話題にしているのは： a) 病人や身体の不自由な人たちのためのサービスについて b) オンラインで本を購入する可能性について c) 新しい郵便サービスについて

N14 b

【正答率】35.4%

F: Il nuovo sindaco della capitale ama, come è noto, spostarsi per la città sulla sua bici, tanto che essa è diventata uno dei simboli della sua campagna elettorale. Se deciderà di continuare a utilizzare anche da sindaco la sua fida "due ruote", i poliziotti incaricati di scortarlo per proteggerlo dovranno abituarsi al nuovo mezzo e seguirlo pedalando.

Il nuovo sindaco:

- a) continuerà a spostarsi solo in bicicletta
- b) si sposterà accompagnato da agenti di polizia
- c) avrà diritto a una bicicletta nuova

【訳】(女)首都の新しい市長は、周知のように、自分の自転車で市内を移動するのが大好きで、自転車は彼の選挙運動のシンボルの一つになったほどです。もしも市長としても自分の信頼できる「二輪」を利用し続けると決めるのであれば、彼を護衛する任に当たる警察官たちは、彼を守るために、この新しい交通手段に慣れ、ペダルをこぎながら彼に付いていかなければならないでしょう。

新しい市長は： a) 自転車だけで移動し続ける予定だ b) 警察官に伴われて移動する予定だ c) 新しい自転車の権利を持つ予定だ

N15 c

【正答率】89.5%

M: È noto che la nascita delle prime reti ferroviarie e dei primi treni avvenne in Europa, ed esattamente in Inghilterra, dove grazie alla rivoluzione industriale il progresso tecnologico fu più veloce. Non tutti sanno invece che la prima ferrovia italiana, lunga poco più di sette chilometri, fu realizzata nel Sud della penisola. Si tratta della linea Napoli-Portici, inaugurata nel 1839 da Ferdinando II di Borbone, re delle Due Sicilie.

La linea Napoli-Portici:

- a) è stata la prima ferrovia del mondo
- b) è stata la prima ferrovia europea
- c) è stata la prima ferrovia italiana

【訳】(男)最初の鉄道網と最初の列車の誕生がヨーロッパで、正確には産業革命のおかげで技術の進歩がより速かったイギリスで起きたことはよく知られています。それに引きかえ、全長 7 キロちよつとのイタリア最初の鉄道が半島南部で実現されたことは、誰もが知っているわけではありません。これはナポリーポルティチ線のことです、1839 年、両シチリア国王、ブルボン家のフェルディナンド 2 世によって開通式が行われたのでした。ナポリーポルティチ線は: a) 世界最初の鉄道だった b)ヨーロッパ最初の鉄道だった c)イタリア最初の鉄道だった

N16 a

【正答率】52.8%

M: Ma ci credi se ti dico che oggi sono uscito con le scarpe diverse?

F: Diverse? Diverse dal solito?

M: No, no. Voglio dire proprio con una scarpa di un tipo e una di un altro! Roba da matti! Non so proprio come ho fatto.

F: Ma che distratto che sei! I calzini, era successo anche a me, ma le scarpe... le scarpe no.

M: Chissà cosa avranno pensato di me in ufficio...

F: Beh, che hai la testa fra le nuvole ormai lo avranno capito anche i tuoi colleghi...

M: Grazie, eh. Bel modo di consolarmi.

F : Però sanno anche che sei un artista e che le tue idee sono sempre originalissime, ed è per questo che ti invidiano tutti, no?

M: Sì, addirittura!

Secondo lei, lui è:

- a) distratto ma geniale
- b) sempre attento alla moda
- c) troppo invidioso

【訳】(男)ねえ、僕が今日違う靴をはいて出かけたって言ったら、信じるかい？

(女)違うって？いつもと違うの？

(男)いや、そうじゃなくて、本当に片方はある種類の靴、もう片方は別の種類の靴をはいてって言おうとしているのさ！どうかしてるよ！どうしてそんなことをしたのか全くわからないよ。

(女)あなたって何てぼんやりしてるの！靴下なら私にもあった話だけど、靴はねえ……靴はないわ。

(男)オフィスでは僕のことを一体どう思ったんだろうなあ……

(女)まあ、あなたがぼんやりしているのが、今ではあなたの同僚にもわかったでしょうよ……

(男)そりゃ、ありがとう。結構な慰め方をしてくれて。

(女)でもあなたがアーティストで、あなたのアイデアがいつもとても独創的だってこともわかっているのよ。だから皆あなたをうらやんでるんじゃないの？

(男)なんとまあ！

彼女によれば彼は： a)ぼんやりしているが天才的だ b)常に流行に気を付けている c)あまりにもうらやましがり屋だ

N45/46/47

【訳】私はそのパーティーで死ぬほど退屈していました。本当にもうこれ以上我慢できなかつたので、私は気づかれることなくこっそり出て来ました。

N45 b

【正答率】59.8%

【解説】1人称単数形の再帰代名詞 *mi* があるので、再帰動詞 *annoiarsi* 「退屈する」の直説法半過去1人称単数形の *mi annoiavo* 「私は退屈していた」が正解です。a)の形容詞 *noioso* は「(人が)退屈している」という意味ではなく「退屈させる」という意味合いなので *la festa era noiosa* 「そのパーティーは退屈だった」でなければなりません。c)の形容詞 *stufo* の場合は <essere stufo di~> で「~にうんざりした」という使い方をするので、*ero stufo della festa* 「私はそのパーティーにうんざりしていた」でなければなりません。d)の他動詞 *stufare* 「うんざりさせる」であれば、*la festa mi stufava* 「そのパーティーは私をうんざりさせていた」でなければなりません。

N46 b

【正答率】35.4%

【解説】<*non poterne più*> は「もうこれ以上我慢できない」という意味の決まった表現です。

N47 d

【正答率】47.2%

【解説】文脈から見て *zitto zitto* 「こっそりと」が正解です。a) 「どうしよう～してしまおうかな」、b) 「ほんの少し」、c) 「非常に強く」は、どれも文脈に合いません。

N48/49/50

【訳】僕は父の車を運転していました。道から飛び出して樹木に激しくぶつかってしまいました。僕のほうは怪我などひとつもしなかったのですが、父の車は……ところで、誰が彼にこのことを伝えるのでしょうか？ 知ったら彼は激怒するでしょう！

N48 c

【正答率】64.2%

【解説】<uscire di strada>は「(車が)道から飛び出す」を意味する決まった表現です。

N49 a

【正答率】79.9%

【解説】文脈から見て「激しくぶつかる」を意味する自動詞 sbattere が正解です。b)「やめる」、c)「押す」、d)「揺らす」はどれも文脈に合いません。

N50 d

【正答率】44.1%

【解説】文脈から見て「激怒する」を意味する決まった表現の<andare su tutte le furie>が正解です。a)「粉々になる」、b)「あの世に行く」、c)「高騰する」はどれも文脈に合いません。

PARTE III (N51 - N57)

【訳】5 世紀たった後にも、メディチ家はなお勝ち誇っている。そして今回は彼らの美的栄光がカンボジアから届いた。そこにはユネスコの評価委員会のメンバーが集まり、トスカーナ州にあるメディチ家の 12 の邸宅と 2 つの庭園を世界遺産リストに加えることに決めたのである。リストの中には国際的レベルで知られる卓越した文化遺産もあれば、同じくらい素晴らしいが知名度の点で劣るものも、今後保護して有効に活用すべきものもある。これらは概してフィレンツェとその周辺に位置しているが、この州の別の場所や、高級リゾートのヴェルシリア地方にまでも隠れた別荘があるのである。トスカーナ州が発表したように、現在、これらの邸宅と庭園があたかも1つの理想都市の、つまりロレンツォ・イル・マニフィコの都市の一部をなすように、知識を深めるための見学を実現するための統合管理ネットワークが設置される予定である。

「リストへの登録は私たちを高く評価する認知の表れです。これらはトスカーナ地域の正真正銘の宝物です。今回のことが新たな有効活用政策を促して、適切な交通網を広げ、効率的な輸送システムをとおして接続を容易にしてくれることを希望します」とフィレンツェ美術館センターの文化財保護官クリスティーナ・アチディーチはコメントしている。カンボジアでの「発表」に居合わせた州の文化評議員クリスティーナ・スカレッティは大喜びの様子であったが、専門委員会の設立にむけて、関係する地方公共団体すべてと合意したと発表している。「これは世界遺産の邸宅と庭

園の運営計画を調整し監視する組織となる予定です。これらの場所が守っているルネサンスの真の魂を明るみに出すような未公開の観光コースによって、新しいトスカーナ像を世界に発信する準備は整っているのです」とスカレッティは説明している。。懸念がないわけではない。場合によっては破壊の怖れもあるこれら珠玉の建築群を輝かせるには、資金調達が、それも緊急で必要なのである。メディチ家はもはや存在しない。今やこれは国家、地方行政、そしてとりわけ市民の役目なのである。

(2013年6月23日付《コリエーレ・デッラ・セーラ》紙に加筆)

N51 a **【正答率】93.4%**

【訳】メディチ家の12の邸宅と2つの庭園がユネスコの世界遺産リストに登録された

N52 b **【正答率】78.2%**

【訳】ここで問題になっているのは、もっぱら世界中で非常によく知られた邸宅と庭園だけである

N53 a **【正答率】72.1%**

【訳】この決定はカンボジアでの会合の間になされた

N54 b **【正答率】83.4%**

【訳】これらの邸宅と庭園はすべて同じ市域の中にある

N55 b **【正答率】69.0%**

【訳】邸宅のうちのいくつかには貴重な宝石コレクションが保管されている

N56 a **【正答率】31.0%**

【訳】クリスティーナ・スカレッティは自らカンボジアに赴いた

N57 a **【正答率】76.4%**

【訳】メディチ家の邸宅と庭園を輝かせるのに必要な資金を早急に見つける必要がある

PARTE IV

N 58

【訳】幼年期、青年期、壮年期、老年期。あなたの意見では、どれが人生で最も興味深い時期ですか？なぜですか？（150語から180語の間で）

【模範解答例】

Secondo me la stagione più interessante della vita è sicuramente l'adolescenza. Si può fare quello che si vuole. Quando studiavo all'università, per esempio, ho vissuto per diversi mesi in Italia. Ho visitato tanti musei, ho viaggiato e ho fatto amicizia con alcuni italiani. Quel mio soggiorno in Italia non lo dimenticherò mai. Da piccola giocavo con i miei amici e a scuola mi divertivo, ma i miei genitori mi facevano studiare tanto. Dovevo ubbidire a loro e ai miei insegnanti. Non mi sentivo libera, quindi nella mia infanzia non tutto era positivo. Dicono che anche da adulti si possa fare quello che si vuole, ma non è vero. Si deve sempre lavorare e, anche se si guadagna bene, magari poi non si ha tempo per spendere i propri soldi. Penso che gli adulti non siano liberi come gli adolescenti. Hanno molto da fare e devono pensare alla famiglia e al lavoro. Da anziani, poi, si è liberi, è vero, ma il corpo è più debole, si è più fragili, e arrivano i problemi di salute e le malattie. (180 parole)

【訳】私の意見では、人生で最も興味深い時期は、確実に青年期です。自分の望むことができるのです。たとえば私は、大学で学んでいたときに、イタリアで数か月暮らしました。たくさんの美術館を訪れ、旅行し、何人かのイタリア人と友達になりました。あのイタリア滞在を私は決して忘れることはないでしょう。幼い頃、私は友人たちと一緒に遊び、学校では楽しくしていましたが、両親は私にたくさん勉強をさせました。私は両親や教師たちに従わなくてはなりません。私は自分が自由だという気がしませんでした。ですから私の幼年期はすべて良いことづくめだったわけでは

ないのです。大人になってもしたいことはできると言いますが、それは本当ではありません。常に働かなくてはなりませんし、たとえ稼ぎがよくても、もしかしたら結局自分のお金を使う時間がないかもしれません。大人は青少年と同じほどは自由ではないと思います。とても忙しいし、家族や仕事に気を配らなければなりません。そして、老年期になれば、確かに暇になりますが、体はずっと弱くなり、もっと脆くなってきて、健康問題や病気が訪れるのです。(180 語)。